

上越市立名立中学校 学校だより



希望が丘

教育目標 「 自律 尊重 創造 」

《第8号》

上越市立名立中学校

電話 025-537-2204

Fax 025-537-2214

(令和4年3月24日発行)

上越市立名立中学校 第四十三回卒業証書授与式



3月7日(月)午前9時から、多数の保護者の皆様をお迎えし、第43回卒業証書授与式を挙行了しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3年連続でご来賓をお招きすることはできませんでしたが、保護者を代表してPTA会長様からご祝辞と卒業記念品の授与をしていただき、また多くの方からたくさんのお祝いメッセージを頂戴しました。卒業記念合唱に代えて、動画の中で卒業生のクラス合唱の発表があり、入学前のあどけない顔や過去の行事の様子など、懐かしい写真の数々も表示されました。新生徒会長の「贈る言葉」と、卒業生代表である生徒会正副会長の3名の「旅立ちの言葉」が述べられ、温かい雰囲気の中、卒業式になりました。卒業式後、卒業生は3年生教室で最後の学活を行った後に記念撮影を行い、在校生に見送られながら名立中学校を巣立っていきました。

卒業生の皆さん、保護者の皆様、誠におめでとうございました。3月11日の金曜日には公立高校入試の発表があり、全員の進路が決定しました。中学校を巣立ち、これからはさらに広い世界で大きく羽ばたいてほしいと思います。



式辞 校長 網谷 清志

昨年よりは少なかったとはいえ、今年も何回か雪の多さに悩まされたことがありました。先週からはようやく春の気配が感じられるようになりました。校舎南側の梅の花も満開を迎えました。

この佳き日に我が名立中学校を卒業される卒業生の皆さん、誠におめでとうございます。保護者の皆様、長らくコロナ禍で大変な状況の中でしたが、こうしてお子様のご卒業を迎えられたことを心からお喜び申し上げます。

私は卒業生とは二年間のお付き合いでしたが、二十四名一人一人の個性が光り輝く、素晴らしい生徒たちでした。ここで、卒業生の歩みを振り返ってみます。

今から二年前、卒業生が二年生に進級するときに全国一斉の臨時休校がありました。さらに一ヶ月後には再度の臨時休校。部活動も停止になり、今まで当たり前だったことができなくなりました。昨年の一月には大雪による臨時休校がありました。一年間に三回の臨時休校は初めての経験でした。全校生徒と教職員が、当たり前前に学校生活を送ることができるありがたさを実感しました。

今年度は、雨により一日延期しましたが、九月に体育祭を行い、十月には二年ぶりの音楽祭、そして日程は短くなりましたが、一泊二日の佐渡への修学旅行に行きました。知恵を出し、工夫して感染拡大防止に努めながら、学校行事を成功させてきました。

私が嬉しかったのは、卒業生の皆さんが「是非、音楽祭をやりたいです。」と先生方に提案してくれたことです。それは、次のような提案でした。「もし今年、音楽祭がなかったら、今の2年生は来年3年生になったときに、初めて音楽祭を企画・運営することになります。経験したことのないことをやるのは大変だと思います。だから、今年は是非、音楽祭をやりたいんです。」と、後輩のことまで考えてくれました。私は、そのように提案してくれた卒業生の皆さんを誇りに思います。本当にありがとうございました。

さて、中学校卒業に当たり、皆さんと確認し合いたいことがあります。それは、今年度新しくした教育目標のことです。卒業生にとっては、わずか一年間でしたが、教育目標達成に向けて懸命に努力してきました。

「自律」とは、自分で考え、判断し、決定し、行動することです。卒業生は進学先の高校を決めるときに実感したことでしょう。

「尊重」とは、自分と周りの違いを理解し、自他を尊重することです。昨年十一月には障害者体験、高齢者体験、部落差別問題学習などで深く学びました。

「創造」とは、豊かな発想で新たな価値を創造することです。卒業生が、四月から新しい環境で新しい生活を創っていくことにあたります。

現実の社会を見てみると、生命の尊厳を脅かす犯罪行為や、ロシアのウクライナへの軍事侵攻など、まさに「自律」していない人たち、また、命を「尊重」しない人たちの行動が毎日報道されています。私は胸が押しつぶされる思いです。このように矛盾に満ちた社会を生き抜くためには、これらの三つの目標「自律

尊重 創造」の精神がますます重要になってきます。卒業生の皆さんは、高校生になっても、大学生、社会人になっても、この三つの目標を常に胸にもち、成長し続けてほしいと願っています。

卒業生の皆さん、四月からは高校生活が始まります。一クラスの数も約四十人になり、最初はクラスの人たちの顔と名前を覚えるのに苦労するかもしれません。新しい友達をつくる近道はズバリ「あいさつ」です。それでは、あいさつの秘訣は何でしょうか？三つあります。



一つ目は、先手必勝です。自分から先にあいさつすることです。

二つ目は、相手に聞こえる大きさと、明るくさわやかにあいさつすることです。

三つ目は、相手から返されなくても腹を立てないことです。自分が嫌われていると思わないことです。

進学先の高校で、初対面の人が多い中で、はじめは勇気がいるかも知れませんが、何度もチャレンジすれば、意識することなく自然にあいさつができるようになります。

さて、卒業生の保護者の皆様、本日は立派に成長されたお子様の姿をご覧になり、感慨もひとしおのことでしょう。保護者の皆様は、九年間にわたって、日本国憲法に定められた「お子様に教育を受けさせる義務」を果たされ、今日この日を迎えました。この間のご苦労に心から敬意を表します。

四月からは義務教育ではありません。お子様が自分で決めた道を、自分の責任で歩いていくこととなります。とはいえ、まだまだ悩むことも多いかと思います。どうか、お子様が親元を巣立つその日まで、さらに深い愛情を注いでいただきたくお願い申し上げます。私ども名立中学校の教職員も、お子様のさらなる成長を心から応援してまいります。

それでは、卒業生の皆さんの新しい旅立ちにあたり、本日ご臨席の皆様のご健康とご活躍を重ねてお祈り申し上げ、式辞とします。

祝辞 PTA会長

卒業証書授与式にあたり、PTAを代表いたしまして一言お祝いの言葉を申し上げます。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、ご臨席いただきました保護者の皆様に対しまして、重ねてお祝い申し上げます。そして、校長先生はじめ教職員の皆様、今まで生徒たちを根気よく愛情深く導いてくださいましたことに感謝申し上げます。

今年度も昨年同様に新型コロナウイルス感染症の影響で我慢をしなければならないことも多かったと思います。この一年を振り返りまして、中学校最後の行事や大会が中止や縮小になってしまったことは大変残念でしたが、本日全員そろって卒業式を迎えられたことを嬉しく思っております。

卒業生の皆さんは、四月からはそれぞれ違った道に進んで行くことになります。これまでの義務教育では感じた事のない様々な事が押し寄せてくるでしょう。この中学校生活で学んだことを基礎として、失敗を恐れず、目標に向かって進んでください。

最後になりますが、皆さんの健康と今後の成長を祈念し、祝辞とさせていただきます。

本日はおめでとうございます。



贈る言葉 在校生代表 新生徒会長

厳しい冬の寒さの中にも、春の訪れを感じる季節となりました。このようなよき日に、晴れて名立中学校を卒業される24名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。在校生を代表し、心よりお祝い申し上げます。

今、先輩方との思い出を振り返ってみますと、私たちは、いつも先輩方の背中を追いかけてきたように思います。その姿は、常に憧れの存在でした。3年生は24人という、僕たち2年生の倍近い人数で、



パワーあるにぎやかな学年で、うらやましいなと感じていました。

体育祭では、夏休み前から準備を開始し、試行錯誤しながら、全校が楽しめるよう工夫した応援を考え、紅軍、青軍という枠を超えて、互いに協力し合い、体育祭を大成功に導いてくださいました。熱い夏の日差しの中、3年生が一生懸命、声をからして応援していたことが思い出されます。

また、部活動では、作品づくりや技術の向上に、誰よりも真摯に取り組んでいました。分からないことがあれば、親身になって教えてくださいました。

委員会や絆班での活動など、多くの場面で私たちの手本として活躍し、私たちがどのように考え、どのように行動すべきか身をもって示してくださいました。

一方、今年度は新型コロナウイルスの影響により、学校行事や部活動が思うようにできないこともありました。きっと悔しい思いをされたことでしょう。しかし、そんな時も先輩方は悔しさや悲しさを表に出さず、いつもと変わらず、笑顔で接してくれました。先輩方の心の広さを感じると同時に、私たち後輩も見習わなくてはならないと思いました。

私たちがこれまで、明るく、楽しく学校生活を送ることができたのは、先輩方の笑顔のおかげです。先輩方の笑顔があったので、私たちは安心して、のびのびと名立中で過ごすことができました。本当にありがとうございました。



今、皆さんは、名立中学校での三年間の学校生活を終え、夢に向かって一步を踏み出そうとしています。これからの道のりは決して平坦なものではないと思います。厳しい坂を越えていかなければいけないこともあるでしょう。そんな時こそ、心強い名立中の仲間存在を思い出してください。そして、笑顔を思い出してください。

皆さんは人生のひとときを共に過ごした仲間です。仲間と、そして思い出を支えに、夢と希望を絶やすことなく、新しい場所で素晴らしい人生を歩まれますことを、在校生一同、祈っています。

これからは、私たち在校生が、名立中学校の伝統を引き継ぎ、より一層、発展させられるように努力していきます。もちろん、笑顔がたくさんある名立中にします。

名残惜しいですが、お別れの時がきました。3年生のみなさんと過ごしたかけがえない時間を、私たちはきっと忘れないでしょう。

皆さんのより一層のご活躍を、名立中学校から応援し続けることを、最後の言葉といたします。今まで本当にありがとうございました。

旅立ちの言葉

卒業生代表

生徒会正副会長

降り積もった雪もとけ、春の訪れが感じられる今日、このよき日に、私たち3年生24名は無事卒業式を迎えることができました。

今、私たちの中には数え切れないぐらいたくさんの思い出が昨日のことのようによみがえってきます。

三年前の春、少し大きい制服に身をつつみ、緊張とうれしさで一杯だった入学式。小学校とは違い、部活が始まったり、50分授業になったりして1日過ごすだけで疲れ切っていました。初めての活動ばかりで不安がとても大きかったことを覚えています。そんな私たちを引っ張ってくれた先輩。思い返せばとても大きな存在で、いつか私たちもそんな先輩方のようにかっこよくなりたいと思うようになりました。



中学生になり、毎日取り組むようになった部活動。授業で疲れ切った後の部活動は、1年生の私たちにとってはとてもきつく、勉強との両立がうまくできずに悩むこともありました。2年生になり、3年生が引退して、「私たちがバレー部を引っ張って行くんだ」という強い意志を持ちました。「地区大会2日目出場」という目標のもと、毎週のように練習試合に行き、まだ自分たちに足りない所を見つけて練習しました。そして3年生になり、4月には「大会まであと2ヶ月、どんな練習をして大会に臨むか」を必死に考え、つらい練習も乗り越えました。大会当日はたくさんの応援や今までの練習の成果を発揮し、目標だった「2日目出場」を達成し、2日目も1勝して悔いなく引退することができました。



バレー部だけでなく、私たちの学年はまとまりがなく、1・2年生をうまくリードすることが難しかったですが、充実した時間を過ごし、どの部も悔いなく引退することができました。1・2年生の皆さん、私たちについてきてくれてありがとうございました。先生方、私たちを厳しくも温かく、ご指導下さりありがとうございました。部活動で先生方から教えていただいたことをこれから的高校生活で生かしていきます。保護者の皆様、大会の送迎やお弁当作りなど、私たちが集中して活動できるように、いつも側で支えてくれました。本当にありがとうございました。

「君の心に領域展開～轟け名中魂～」のスローガンの元、全校生徒53人で力を合わせて競った体育祭。各軍全員が全力で取り組み、どの競技も熱戦が繰り広げられました。私は実行委員として臨み、3密を防ぎながらできるのか、期間内に準備が間に合うのか、全校生徒が動きやすい指示ができるのか、といった課題に対し、とても不安でした。しかし軍集会、代議員会、夏休みの活動と体育祭が近づくにつれてその不安はだんだんとなくなっていました。それは各軍のリーダーたち、各委員長、実行委員、1・2年生、そして先生方の協力があったおかげだと思います。体育祭が終わった後の達成感は大きく、今までの苦労を忘れる最高の瞬間でした。この行事を機に、クラスがだんだんとまとまっていったことを実感しました。

今年度は去年行うことのできなかった音楽祭を行うことができました。2年ぶりということで、音楽祭の経験のある私たち3年生が頑張らなければいけないと思い、伝統をつなぐことができたと思います。新型コロナウイルスが流行っていた中で、このような行事が行えたということは、先生方や地域の皆様のおかげだと思います。これまで「当たり前だ」と思っていたことにも感謝をするということの大切さを学びました。

在校生の皆さん。皆さんから今の私たちはどのように見えているでしょうか。

思えば、一人一人個性が強く、毎日のようにトラブルがあった1年生の時に比べると、自分たちがかつて憧れていた、そんな先輩に近づくことができたのかなと感じています。「力」という学級目標のもと、様々な力をつけたいと団結力が高まっていった3年間。特に3年生としての一年間はとても短く、最後の年を楽しみたいと思いながらも卒業が近づくにつれて、だんだんと寂しい気持ちも湧いていきました。



在校生の皆さん、私たちを支え、頼ってくれてありがとうございます。私たちは今日、この名立中学校をあなたたちに託します。今よりもっとよい学校にしていって下さい。今日まで私たちを優しく、時には厳しく指導して下さいました先生方。本当にお世話になりました。今までかけていただいた数々の言葉はいつも私たちの心の支えになりました。出会えたことに感謝し、いつか先生方に誇らしい姿を見せられるよう、精一杯頑張ります。本当にありがとうございました。どんな時も温かく見守ってくれた家族のみんな。いつもは言えな

いけど、この場を借りて言いたいと思います。いつも困らせてばかりでごめんなさい。今日まで大切に育ててくれてありがとうございました。これからもまだまだお世話になりますが、よろしくお願いします。

最後に24人のみんな。出会ってから9年、そばにいたことが当たり前になって、笑顔で過ごせた日々がもう来ないと考えるとすごく寂しいです。ともに支え合っていた仲間と離れてしまうなんて信じられません。本当はまだ一緒に笑っていたいけど、私たちは別々の道に進みます。これからもみんなは私にとってずっと大切な友達です。また会う日まで一人一人がんばろうね。今まで本当にありがとう。

三年間なんて人生のうちでほんの一瞬かもしれないけど、この思い出はきっと一生忘れないものになるでしょう。すばらしい経験をさせてくれた名立中学校、卒業式を開いて下さった皆様、ありがとうございました。私たちは今日、生徒会スローガンである「無限大」の未来に向かって、新たな一歩を踏み出したいと思います。

生徒総会・生徒会引継式

2月9日(水)の午後、体育館で防寒対策をしながら第2回生徒総会が開かれました。本年度の生徒会活動を最終評価し、来年度の活動につなげることがねらいです。生徒たちは従来の議案書に代えて、各自のタブレット端末を持参し、新しいスタイルの生徒総会となりました。

開会にあたり、生徒会長は「1年間の生徒会活動を振り返り、成果と課題を明らかにするとともに、来年度の生徒会活動を活発にするために意見を出し合いましょう。」と述べました。

生徒会スローガンの振り返りや、各委員会、部活動の活動、生徒会会計等が報告され、その後、班に分かれて自由討議が行われました。「リーダーシップとは… ～憧れるリーダーの姿と行動～」というテーマで自由討議を行いました。

令和4年度 名立中学校生徒会役員	
生徒会長	(2年)
男子副会長	(2年)
女子副会長	(2年)
総務委員	(2年)
	(2年)
	(1年)
	(1年)
	(1年)
学級委員長	(2年)
生活委員長	(2年)
図書委員長	(2年)
健康委員長	(2年)

総会終了後、生徒会役員の新旧引継ぎ式が行われました。新旧の生徒会役員が向き合い、それぞれの活動に必要な物品を引き継ぎました。3年生は今まで支えてくれた感謝を述べ、1・2年生は、3年生が築いた伝統をさらに発展させることを誓いました。新役員は右の表の通りです。新会長をはじめとする新生徒会が築く、新しい名立中学校の歴史に期待しています。



3年生ありがとうウィーク

2月14日(月)から、1・2年生が3年生への感謝を形にして表す「3年生ありがとうウィーク」が始まりました。新生徒会最初の大きな活動です。委員会ごとに次のような企画をし、活動を行いました。

総務: 謎解き大会とありがとうセレモニーの企画・運営

学級: プレゼント色紙の作成、卒業式用鉢植えの管理

生活: 3年生へのインタビュー放送

図書: 先生方から卒業生へのメッセージの撮影・編集

健康: 教室・廊下の装飾、黑板メッセージ、スナップ写真撮影、お体お大事に活動



特に2月17日(木)は、「3年生ありがとう企画」と題して、謎解き大会とセレモニーを行いました。謎解き大会では、8つの班に分かれて各教室を回り、各部屋で総務委員から出される謎を解いて暗号カードをもらいます。カードを集めて組み合わせると、メッセージが完成するというものでした。謎解きの後のセレモニーでは、1・2年生が手



作りした、スナップ写真とメッセージが開かれた色紙、さらに、今年度は特別に、感染症予防のためのマスクが手渡され、最後にモザイクアートを囲んで記念撮影を行いました。メッセージを受け取って読む3年生の笑顔と、それを見て誇らしく嬉しそうな新生徒会のメンバーや1・2年生の顔がとても印象的でした。今回の活動は、生徒会総務を中心に、1・2年生が自分たちで企画を立て、進んで準備をして行いました。新しいリーダーとしての自覚と責任感を示した素晴らしい姿でした。

同窓会入会式

卒業を控えた3月2日(水)、3年生は同窓会入会式と3学期終業式を行いました。

同窓会長様は、感染拡大防止のためご欠席されましたが、入会のお祝いの言葉を届けてくださり、教務主任が代読しました。校長の挨拶、会則の説明のあと、同窓会年次理事の2名から誓いの言葉がありました。引き続いて行われた終業式では、代表生徒が、3学期を振り返り、卒業後の決意を発表しました。原稿を見ることなく、堂々と発表する姿は最高学年にふさわしく感動的でした。



宝田小学校・名立中学校後援会の皆様へ

～ 今年度も温かいご支援をありがとうございました ～

令和3年度も間もなく終わり、新年度を迎えようとしています。

今年度より、教育目標を「自律 尊重 創造」と改め、新学習指導要領の全面実施、GIGAスクール構想本格導入の年として、教育活動に取り組んでまいりました。令和元年度末から続く、新型コロナウイルス感染症の影響は避けることができず、活動の様々なところに制約があり、縮小あるいは中止せざるを得ないこともありました。しかし、工夫をすることで、感染対策を講じながら体育祭、音楽祭などの行事を行い、職場体験学習や地域貢献活動を実施し、行先を変更しながらも修学旅行に行くことができました。コロナ禍においても生徒たちが充実した学校生活を送ることができたのは、多くの場面で保護者の皆様、地域の皆様から支えていただいたおかげです。心より感謝申し上げます。

今年度、後援会の役員の皆様のご尽力と、地域の皆様方の温かいご支援により、後援会費として、総額 **743,800円**のご協力をいただきました。誠にありがとうございました。名立中学校では、部活動の大会参加費や交通費、備品の購入費をはじめとして、講演会の講師謝礼、各種行事の補助等、様々な場面で有効に活用させていただきました。

新年度も、小中の連携をさらに深め、目指す児童・生徒像を共有しながら9年間を見通した教育活動を展開してまいります。また、職場体験や地域貢献など地域の皆様と関わることでできる活動を通して、豊かな心の育成に努めてまいります。一年間、ありがとうございました。今後とも、名立中学校の教育活動に、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

